

市政に対する

一般質問

各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧いただけます。



大瀧 和弘 議員

- 今後の市政運営について
- 市長公約の推進について
- 真岡てらうち産業団地について
- 災害発生時への備えについて
- 複合交流拠点施設 monacalについて



一般質問はこちら

これからの市政運営について

代表質問

本市は人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、防災・減災への対応など、多くの課題に直面しております。また、コロナ禍を経て社会の構造や価値観が大きく変化する中、行政運営そのものにも変革が求められております。こうした時代の転換期において、市長の理念と判断は、今後の真岡市の発展を左右する重要な鍵になると考えております。市長がこれからの市政運営に臨む基本的な考え方や進め方について伺います。

答弁

第1に、対話・協働・連携を深めた市政の運営、第2に、公約である7つのまちづくりの柱と45の施策の計画的かつ着実な取組、第3に、『選ばれる都市もおか』の実現、第4に、健全で持続可能な行財政運営の推進を、今後の市政運営の基本とし、積極的な情報発信に努め、スピード感を持って施策の展開を図り、より多くの市民のご意見を伺いながら、市民重視のまちづくりを推進してまいります。



春山 則子 議員

- 女性職員の管理職への登用について
- 新斎場整備について
- ラーケーションの日の導入について



一般質問はこちら

新斎場の整備について

代表質問

現斎場は建設から46年以上が経過し老朽化が著しい施設であります。また、新斎場の基本構想を見ますと、2025年度から2029年度の間には現在の火葬炉の数では対応できなくなるとの課題も指摘されています。中村市長は議員時代に何度も新斎場建設に関する質問をしており、思いがあるものと思います。市長として新斎場建設に掛ける思いをお聞かせください。

答弁

新斎場の整備につきましては、現斎場の老朽化や、今後の火葬需要増加への対応を鑑み、早期に整備を進めていく必要があります。一方、候補地周辺のご理解をいただくため、施設の整備や必要性、安全対策などの説明を丁寧に行っていただきたいとも考えておりますので、私の考えを芳賀地区広域行政事務組合に伝えるとともに、引き続き、事業推進に向け、同組合や関係5町とも連携してまいります。



柳田 尚宏 議員

- 真岡鐵道運行について
- いがしらリゾートエリア事業展開について
- 庁舎と複合交流拠点施設monacaの利便性について
- 子育て支援について



一般質問はこちら

井頭公園の東駐車場整備について

質問

栃木県が、真岡市や指定管理グループなどで構成する「いがしらリゾート活性化協議会」の意見に参考に、井頭公園東駐車場の一部レイアウトの見直しなどを行うとのことですが、遊戯機能においては、真岡ハイトラ運動公園の子ども広場のように年齢層にエリア分けされ、多様化された遊具は遊びやすい環境だと思います。それらを踏まえて井頭公園東駐車場整備概要についてお聞きします。

答弁

県では、井頭公園東駐車場に芝生の多目的広場を整備し、大型遊具やインクルーシブ遊具を設置することで、賑わいの創出を図っていきます。昨年度から測量・設計業務を進めており、本年度秋ごろに整備工事に着手する予定です。本市としては、いがしらリゾートエリアのハード面の整備について関係機関と協議を進め、既存コンテンツの磨き上げやソフト事業の充実により、更なる魅力向上を図ってまいります。

※インクルーシブ遊具とは、年齢、身体的な能力、発達段階、あるいは社会的背景に関係なく、すべての子供や利用者が一緒に楽しむことができるよう設計された遊具や遊び空間



小川 美穂 議員

- 教育におけるオンライン事業について
- 不登校の子ども達への学びの機会確保のための公民連携について
- 市民活動の支援について
- 共生社会に向けた啓発・取組について



一般質問はこちら

教員以外の専門職の全校配置を

質問

教員の長時間労働が全国的な課題となっており、子どもと向き合う時間が確保しづらくなっています。その結果、教員の離職やメンタルヘルスの悪化、教育の質の低下、なり手不足といった深刻な影響を耳にします。それらの対策として、専門職を学校に配置する動きが各地で出ています。作業療法士や学校司書の全校配置により、すべての子どもたちの学びを支える体制を構築する考えはあるのか伺います。

答弁

本市では教員の負担軽減のため、相談員や支援員などの非常勤職員を多数配置しており、他にも学校からの要望を受け、看護師などの専門職も配置しております。作業療法士につきましては、学校からの要望がなく、必要性が低いことから配置の考えはありません。学校司書につきましては、市内全小中学校に6名を巡回配置しておりますが、さらなる読書環境の充実を図るため、配置について調査・研究してまいります。



大隈 広郷 議員

- 給食無償化の動きについて
- 再生可能エネルギーについて
- 予防接種及び予防票について



一般質問はこちら

給食のオーガニック化について

質問

市長は給食無償化に合わせてオーガニック化を掲げています。給食をオーガニック化するには量の確保が問題ですが、芳賀郡などの広域連携を視野に入れた実現を願います。農林水産省は12月8日を「有機農業の日」と定めており、推奨期間中1日でも有機給食を提供することを推奨しております。実施する考えについて伺います。

答弁

給食のオーガニック化につきましては、「有機農業の日」にこだわることなく、有機農産物が手に入りやすい時期の見極めなどが必要と思われます。本市の給食のオーガニック化については、質・量及び購入金額の課題が考えられますので、引き続き、調査・研究してまいります。



添野 郁 議員

- 本社や研究開発機能の誘致促進について
- 有害鳥獣被害防止対策について
- 学校教育の充実について
- カーボンニュートラルの推進について
- 地域共生社会の実現について



一般質問はこちら

有害鳥獣被害防止対策について

質問

市では真岡市鳥獣被害防止計画を策定し、被害を減らすための対策を行ってきましたが、捕獲した後の処分に苦慮しているという声を聞きます。市が回収するか、専門業者を紹介し処分費用の助成などを行ってはどうか市の考えを伺います。

答弁

現在、本市では、原則、捕獲した有害鳥獣の処分については申請者本人が行うこととなっております。しかしながら、申請者自身での処分が難しい場合には、様々な有害生物などを管理、防除する専門業者を紹介し、ご対応いただいております。

なお、捕獲した有害鳥獣の回収を市で実施することや申請者自身で処分した場合の処分費用に対する助成については、現時点では考えておりません。



飯塚 正 議員

- 複合交流拠点施設 monacaの子育て支援センターについて
- 重点支援地方交付金について
- 物価高騰対策について
- 道路の管理について
- 行屋川の管理について
- 市長の政治姿勢について



一般質問はこちら

平和記念式典への小中学生の派遣を

質問

今年は被爆80年、日本は世界で唯一の原爆を落とされた国です。生き残った被爆者たちは今なお放射線により健康が害され、苦しみ続けており、二度とこのようなことが起きないように世界に向けて声を上げています。世界には約1万2,120発の核兵器があります。核兵器が存在する限り真の平和な世界は訪れません。平和教育の一環として平和記念式典へ小中学生を派遣することが求められているのではないのでしょうか。

答弁

市内小中学校の授業では国語科や社会科などにおいて、戦争や核兵器使用による被害の悲惨さや平和への取組などについて学習し、人権を尊重しながら平和の尊さを学んでいます。また、本市では国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業を活用し、被爆体験伝承者を各中学校に派遣しています。

今後は、これらの事業と広島・長崎に派遣する事業との効果について調査・研究していきます。



七海 朱美 議員

- 子育て世代にもっと選ばれるまちづくりについて
- 学校給食のオーガニック化について
- 企業誘致について
- 産婦人科の確保について



一般質問はこちら

産婦人科の確保を

質問

真岡市内の4つの産婦人科のうち3つの医院が閉院、あるいは診療を縮小するとのこと。これを受け、妊娠想定者や妊産婦の方々は、出産に対する不安を抱えることが懸念されます。また、「子育て世代にもっと選ばれるまちづくり」を実現するためにも、産婦人科の確保は重要な課題であると考えます。

閉院等の要因は、様々あると思いますが、これらの現状を踏まえ、今後の方策について伺います。

答弁

現在、小菅クリニックと芳賀赤十字病院で連携（セミオープンシステム）が図られており、これにより普段通うクリニックで健診を受けることができ、高度な設備が整い、新生児集中治療室などのある病院で安心して出産に臨むことができます。

芳賀赤十字病院では、真岡市の出生数の推移などを鑑み、全ての市民が安心して出産できる受け入れ体制が整えられていますので、広く周知を行っていきます。

※セミオープンシステム…地域のクリニックと病院が連携し、クリニックで妊婦健診を受け、妊娠後期の健診や分娩管理、夜間休日の救急対応は連携する病院で行うもので、小菅クリニックでは、自治医科大学附属病院との間でも、このシステムにより連携が図られている。



渡邊 隆 議員

- 真岡市の人口減少対策について
- 小中学校のいじめ対策について
- 福祉行政について
- 教育行政について
- 農業行政について



一般質問はこちら

「ふるさと住民登録制度」に対する見解は

質問

政府は、「地方創生 2.0」の目玉政策として、関係人口を可視化する「ふるさと住民登録制度」の創設を打ち出しました。その構想では「若者・女性にも選ばれる地方をつくる」「地域資源を活用した高付加価値の地方経済をつくる」などを掲げており、東京圏へ極端に人口や経済が集中するなか、都市対地方の対立ではなく、相互につながり、高め合う社会の実現を目指すものです。このことに関する市の見解を伺います。

答弁

本制度について、自治体側としては、観光リピーターの獲得や特産品の購入による地域経済の活性化に加え、ボランティア人材の確保や二地域居住の促進による地域の担い手確保の効果も期待できるなど、利用者自治体の双方に多様なメリットがあるされています。本市としても、自治体の持続可能性を高める上で、有効なものであると認識しておりますので、今後、国の動向を注視しながら、調査研究を進めていきます。

※ふるさと住民登録制度…法的な住所地とは異なる自治体と多様な形で関わる人々との結びつきを強化し、地域活性化を目指すもので、現在、国が制度の創設を検討している。この制度では、利用者が自治体を選んで「ふるさと住民」として登録することで、いわば「第2の住民票」とも言える登録証が発行され、これにより、利用者はその自治体のふるさと住民として、様々な行政サービスを受けられることになる。



須田 正彦 議員

- 二宮運動場について
- 真岡市生涯学習館について
- 空き家対策について



一般質問はこちら

二宮運動場の老朽化に対する今後の対応は

質問

二宮運動場のテニスコートはひび割れ・黒ずみ・出入り口の劣化等修繕の必要な箇所が多数見受けられます。

使用禁止の状態で置かれている遊具については、修繕が不可能であれば撤去をするなど迅速な対応が必要であると思います。

また、利便性の低い男女兼用のトイレもありますので、今後の施設管理について伺います。

答弁

テニスコートについては、老朽化が進んでおり、遊具については、腐食や劣化が進み危険な状態であるとして、現在、利用を停止しています。

これらを踏まえ、テニスコートについては、新たな利活用方法も視野に入れた上で、今後の方向性を検討しています。また、テニスコート南側の広場については、今年度中に遊具を撤去するとともに、男女兼用のトイレについても、対策を講じていきたいと考えています。



中野 達生 議員

- 新生中村市政運営について
- 地域コミュニティについて
- 真岡の夏まつりについて
- 昭和100年を記念して



一般質問はこちら

真岡の夏まつりの熱中症対策は

質問

真岡の夏まつり荒神祭開催にあたり、各団体とも参加者の熱中症対策にはタイムスケジュールの変更や熱中症対策グッズの導入など決められた予算内で行っています。しかし、真岡に来られる観光客や祭りを観覧する市民の方々に対しても真岡市として何か対策する必要があると考えます。そこで具体的な対策はあるのか、またミストシャワー等効果があるが導入する考えはあるのか伺います。

答弁

来場が多い土曜日（7/26）に設置する救護所について、今年から新たに市役所の一部を貸し出し、3箇所を増設します。看護師は5名に増員することに加え、常駐時間を午後2時から10時までとし、熱中症対策を強化していきます。また、お祭り関係団体においても、熱中症対策として、会場内にミストシャワーを設置することに加え、テント等による日よけ場所を設置するなど検討しています。



上原 ちよー 議員

- シャトルバス運用について
- 事業承継について
- 真岡市における防犯対策について



一般質問はこちら

事業承継に対する 商工団体との連携を

質問

事業承継についての主な課題については、後継者不足・事業資金の確保・税負担の重さ・個人保証の引き継ぎ難等で、特に中小企業や個人事業主等に多く見受けられ、承継の遅れや家業継続を断念する要因となっています。

市長は「商工会議所や商工会などとの連携による地元の中小企業や起業家への支援」を公約で掲げていますが、今後の商工団体との連携について伺います。

答弁

事業承継に関する相談は商工会議所や商工会等の商工団体が受付窓口となっており、相談には経営指導員が対応し、必要に応じて「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」や「栃木県よろず支援拠点」等の専門窓口への案内もしています。

次に、市の取り組みとしては、事業承継者が新たな販路開拓に取り組む事業計画に対し、「真岡市事業承継者支援補助金」を活用した事業者支援を行っています。

常任委員会の審査から

常任委員会で審査した議案等について、主なものの概要を掲載します。

総務常任委員会 6月23日(月)

議案第63号-65号 工事請負契約の変更について

質疑 契約金額引き上げの根拠は何か。

答弁 令和6年度に実施された公共事業労務費調査に基づき、国土交通省が定める公共工事設計労務単価が引き上げられたことによるものである。

⇒全会一致で可決

民生文教常任委員会 6月19日(木)

議案第61号 真岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

⇒全会一致で可決

産業建設常任委員会 6月20日(金)

議案第62号 緊急防災等工事計画の策定について

質疑 市内にため池はどれくらいあるのか。

答弁 市内には14カ所のため池があるが、防災重点農業用ため池は南高岡の上池と下池の2カ所である。

⇒全会一致で可決